

製品名: ラムダ軽鎖 (14H15) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe13188**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%新型保存料 N、50%グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:10000,IHC 1:200-1:500,ICC/IF 1:100-1:200
分子量	25kDa

抗原情報

遺伝子名	Bence Jones protein; BJP; Constant region of lambda light chains; Ig lambda chain C regions;
別名	IgLC; IGLC1; IGLC2; IGLC3; IGLC6; IGLV; Immunoglobulin lambda constant 1; Mcg marker; Paraprotein;
遺伝子 ID	
SwissProt ID	P01701/P01842
免疫原	全長天然タンパク質

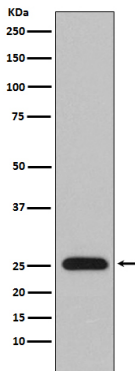
背景

5つの免疫グロブリンクラスはすべて、2本の重鎖と2本の軽鎖からなる4本のポリペプチド鎖からなる基本的な構造を共有しています。重鎖には5つのタイプがあり、軽鎖には2つのタイプ（ κ 鎖と λ 鎖）があり、どちらも分子量は22.5kDaです。どのタイプの重鎖もいずれかのタイプの軽鎖と結合することができますが、どの免疫グロブリン分子においても、両方の軽鎖は同じタイプです。

研究分野

-

画像データ



ヒト血漿溶解物中のラムダ軽鎖発現のウェスタンブロット分析。